



2020年度 岩田ゼミガイダンス資料

2020年3月 岩田美香

0. はじめに

岩田ゼミは、2009年度からスタートしたゼミですが、2017年度は岩田がサバティカルでゼミ募集を行わなかったため、みなさんは第11期生になります。

1. 専門演習ⅠA・B（火曜日の5時限）のテーマ：

①子育て・子育ての社会的不平等

②子どもと家族へのソーシャルワーク

「子どもと家族」「社会的養護問題」「ジェンダーと女性福祉」「青少年・非行問題」

「学校と教育問題」「スクールソーシャルワーク」「現代の貧困問題」

2. テキスト購読（予定）：

テキストは年に2冊程度を読んでいきます。3年の専門演習ⅡA・Bも含めると4冊程度になります。

①山中美智子・玉井真理子 編著（2017）『出生前診断 受ける受けないはだれが決めるの？』生活書院

②すぎむらなおみ+「しーとん」（2010）『発達障害チェックシートできました』生活書院

参考までに・・・2020年度の3年生のゼミ（専門演習ⅡA・B：火曜日4時限）の予定テキスト

①山口慎太郎（2019）『「家族の幸せ」の経済学』光文社新書

②宮口幸治（2019）『ケーキの切れない非行少年たち』新潮新書

③子どもを守る会編（2020）『子ども白書2020』かもがわ出版

☆関心があれば、みなさんも参加可能です。

3. 関心テーマ発表

各自あるいはグループで関心のあるテーマについて調べ、資料を作成して発表する。

4. ゼミの進め方：

全員が論点を書き出したペーパーを用意+司会（該当する章の担当者）が進行

→全員でディスカッション

→テキスト終了時に全体の感想提出

→長期休暇に課題あり



5. これまでにゼミで読んできたテキスト

*第1期生

- ①土井隆義（2008）『友だち地獄 「空気を読む」世代のサバイバル』ちくま新書
- ②堤未果（2008）『ルボ貧困大国アメリカ』岩波新書
- ③村尾泰弘（2008）『Q&A少年非行を知るための基礎知識』明石書店
- ④藤岡淳子（2001）『非行少年の課外と被害 非行心理臨床の現場から』誠心書房

*第2期生

- ①藤本典裕（2009）『学校から見える子どもの貧困』大月書店
- ②堤未果（2010）『ルボ貧困大国アメリカII』岩波新書
- ③好井裕昭（2009）『排除と差別の社会学』有斐閣選書
- ④北澤毅（2007）『リーディングス日本の教育と社会 第9巻 非行少年犯罪』日本図書センター

*第3期生

- ①小木曾宏（2007）『現場に生きる子ども支援・家族支援 ケースアプローチの実際』生活書院
- ②熊本日々新聞「こうのとりのゆりかご」取材班（2010）『揺れるいのち 赤ちゃんポストからのメッセージ』旬報社
- ③土井隆義（2010）『人間失格？「罪」を犯した少年と社会をつなぐ』日本図書センター
- ④ロジャー・グットマン（2006）『日本の児童養護 児童養護学への招待』明石書店

*第4期生

- ①井上輝子（2011）『新・女性学への招待』ゆうひかく選書
- ②ブライアン・コービー（2002）『子ども虐待の歴史と理論』明石書店
- ③土井隆義（2012）『若者の気分 少年犯罪（減少）のパラドクス』岩波書店

*第5期生

- ①広井照幸・伊藤茂樹（2010）『教育問題はなぜまちがって語られたのか？「わかつたつもり」からの脱却』日本図書センター
- ②児玉真美（2011）『アシュリー事件 メディカルコントロールと新・優生思想の時代』生活書院
- ③友枝敏雄・山田真茂留（2013）『Do! ソシオロジー 改訂版』有斐閣アルマ

*第6期生

- ①荻谷剛彦（2011）『教育の社会学〔新版〕』有斐閣アルマ
- ②内閣府（2014）『子ども・若者白書 平成26年版』日経印刷
- ③ジョン・E・マイヤーズ：庄司・澁谷・伊藤訳（2011）『アメリカの子どもの保護の歴史 虐待防止のための改革と提言』明石書店

*第7期生

- ①ロジャー・グッドマン、井本由起、トゥーツカ・トイボネン（2013）『若者問題の社会学 視線と射程』明石書店
- ②岩間・大和・田間（2016）『問いからはじめる家族社会学』有斐閣
- ③子どもを守る会編（2017）『子ども白書2017』本の泉社

*第8期生

- ①坪・金子・室田（2016）『問いからはじめる社会福祉学』有斐閣
- ②鮎川潤（2014）『少年非行 社会はどう処遇しているか』左右社

*第9期生

- ①鈴木大祐（2016）『崩壊するアメリカの公教育 日本への警鐘』岩波書店
- ②井上寿美・笹倉千佳弘（2015）『子どもを育てない親、親が育てない子ども』生活書院
- ③児美川孝一郎（2011）『若者はなぜ「就職」できなくなったのか？』日本図書センター
- ④日本子どもを守る会編（2019）『子ども白書2019』かもがわ出版

***第10期生**

- ①滝川一廣 (2012) 『学校へ行く意味・休む意味 不登校って何だろう?』日本図書センター
- ②児玉真美 (2019) 『殺す親 殺させられる親』生活書院



6. これまでにゼミで行った「その他」

- * ゲストスピーカー : ・ 児童相談所一時保護所 ・ 家庭裁判所調査官
・ ゼミの先輩の現場の話

- * 日帰り施設等見学 (任意) : 近郊

- ・ 女性保護施設 ・ 児童養護施設 ・ 児童自立支援施設 ・ 警視庁本部

- * 旅行+施設見学 (任意) : 昨年度は札幌に行きました。

- ・ 男子少年院 ・ 女子少年院 ・ 母子生活支援施設

それ以前は、函館に行きました。

- ・ 少年刑務所 ・ 少年鑑別所 ・ 児童相談所 ・ 保育園

- ・ 母子生活支援施設 ・ 母子家庭就労自立支援センター ・ 救護施設

- * 卒論の書き方一泊二日集中ゼミ (卒論を書く人は全員参加) : 百周年記念館などに宿泊して集中研修

白井利明・高橋一郎 (2013) 『よくわかる卒論の書き方 [第2版]』ミネルヴァ書房

- * 貧困家庭等の子どもへの学習ボランティア (任意) : 希望があれば、下記の活動へおつながります。

- ・ 学ボラ (世田谷区)
- ・ 八王子オリーブ無料塾 (母子生活支援)
- ・ 児童養護施設のボランティア (学習支援や生活支援)
- ・ 教育委員会適応指導教室 ・ 学校サポーターなど

お待ちしております。

